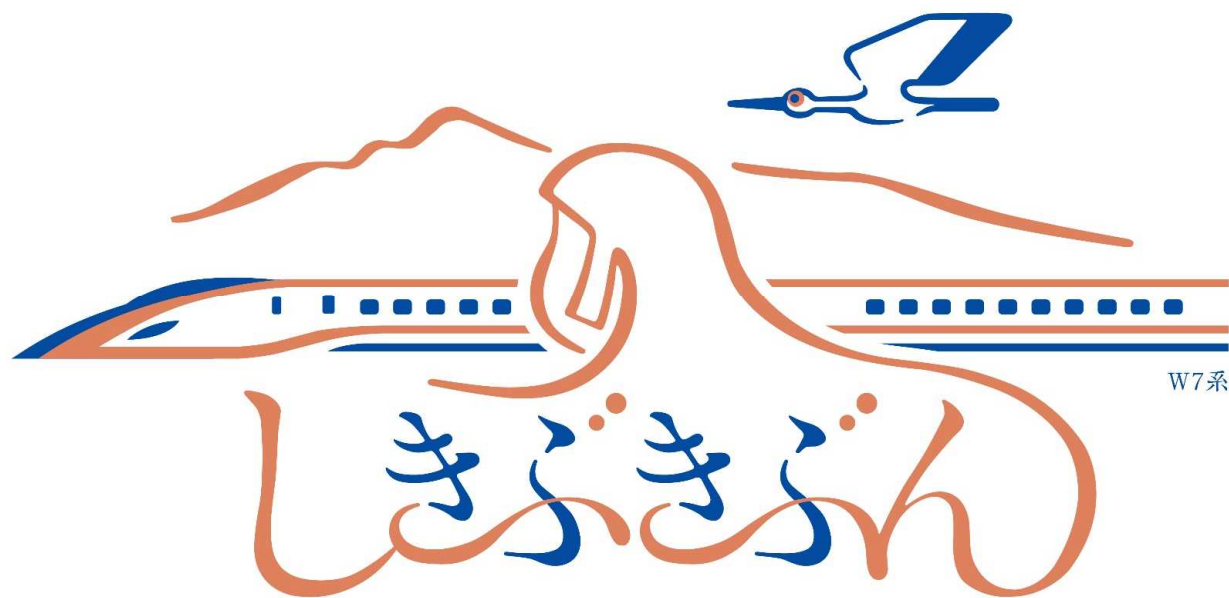


令和5年度 12月補正予算案



令和5年11月21日 越前市

令和5年度12月補正予算案のポイント

物価高騰対策や市民生活を下支えする経費の必要額を補正するとともに、新幹線開業後の新時代にスタートダッシュできるように二次交通や観光地の魅力アップを推進

- 物価高騰により影響を受けている市民や事業者への支援を国、県と連携し迅速に実施
- こども医療費やデマンド交通、災害への対応等、安全・安心な市民生活を下支え
- シャトルバスの運行や観光地のスケールアップなど、観光地の魅力アップを推進

12月補正予算案の構成

- 1 物価高騰対策
- 2 安全・安心な市民生活を下支え
- 3 観光地の魅力アップを推進
- 4 地域ブランド力の向上
- 5 その他（人事院勧告等を受けた職員給与費の増額等）

令和5年度12月補正予算案 規模

一般会計 14億3,263万7千円

(うち先議分：3億9,132万5千円、通常分：10億4,131万2千円)

○12月補正額案としては、令和元年度以降、過去2番目の規模

○補正後の予算額案は、398億2,810万円

(単位：千円)

会計区分	5年度					4年度 12月現計 ②	増減額 (①-②) ③	対前年度 伸び率 (③/②)
	補正前	補正額			補正後 ①			
		その1 (第7号:先議分)	その2 (第8号:通常分)	計				
一般会計	38,395,463	391,325	1,041,312	1,432,637	39,828,100	38,628,878	1,199,222	3.1%
特別会計	16,914,702	-	260,332	260,332	17,175,034	17,343,469	△168,435	△1.0%
企業会計	9,378,704	-	69,697	69,697	9,448,401	9,287,993	160,408	1.7%
合計	64,688,869	391,325	1,371,341	1,762,666	66,451,535	65,260,340	1,191,195	1.8%

※4年度12月現計は、追加後

令和5年度12月補正予算案（第7号：先議分）のポイント

物価高騰対策のうち、迅速に支援する必要があるものを前倒し。年内に市民・事業者へ支援を届ける

○住民税非課税世帯等への給付金
（1世帯当たり7万円を支給）

○ふく割アプリを活用した電子クーポン
「えちぜんし割」の発行
（2千円以上の買上げで500円の割引）

国の補正予算に合わせた市民・事業者への迅速な支援

住民税非課税世帯等支援給付金事業（3億3,132万5千円）

令和5年度住民税非課税世帯等に対する支援給付金事業（追加給付）（国庫10/10）

目的	令和5年11月2日の閣議決定を受け、今年度の支援給付金（対象1世帯当たり3万円）を受給した令和5年度住民税非課税世帯等に対して、引き続き物価高に苦しむ生活を支援するため、追加給付を行う。 なお、今後の国の動向によっては、給付対象の拡充を検討する。
給付対象世帯	支援給付金（3万円）を受給した令和5年度住民税非課税世帯等（約5,000世帯）
給付方法	無申請給付（プッシュ型）：約5,000世帯 …原則として支援給付金の受給口座に給付（給付決定通知のみ送付）
給付額	対象1世帯当たり <u>7万円</u> （給付済3万円と併せて10万円給付）
支給総額	<u>350,000千円</u> ※令和5年度住民税非課税世帯等に対する支援給付金（3万円）執行残22,080千円のため <u>給付金補正額 327,920千円（事務費除く）</u>
給付時期	【通知発送】 12月上旬～ 【振込日】 12月25日（月）（見込）

国の補正予算に合わせた市民・事業者への迅速な支援

えちぜんし割クーポン発行事業（6,000万円）

物価高騰対策事業【えちぜんし割クーポン発行事業】

年末年始の消費拡大期にあわせて、物価高騰の影響を受けている市民や事業者に対して、「えちぜんし割クーポン」の発行により、地域消費を喚起して支援する。

1 事業内容

(1)クーポン企画	2,000円(税込)以上の買上げで500円割引
(2)発行総額	48,000千円（@500円×96,000枚）
(3)使用期間	令和5年12月1日(金)～令和6年1月31日(水) ※令和5年12月30日(土)～令和6年1月4日(木)は使用不可
(4)取得方法	①期間中の毎日、午前10時、午後6時に発行 ②使用期限は取得翌日の23時59分まで ③クーポンの取得は、1期間、1ユーザーにつき1枚可能。 ※1期間は金曜日から翌木曜日までの1週間
(5)使用可能店舗	511店舗 ※R5.10月末時点、ふく割登録店のうち市内に所在している小規模店
(6)ユーザー数	446,873人 ※R5.10月末時点、ふく割全ユーザー数
(7)サポート体制	・コールセンターでの電話対応 ・ショッピングセンター(武生楽市)にサポートデスク設置(月2回の土曜日)
(8)予算額	60,000千円(クーポン原資:48,000千円、事務費:12,000千円) 委託先:ふくいデジタルバウチャー推進協議会(福井商工会議所内)



1 物価高騰対策

学校給食費価格高騰対策特別支援事業など9事業（6億1,819万5千円）

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民・事業者に対し、きめ細やかな支援を実施

<市民向け>

- 非課税世帯(3億3,133万円)【再掲】
非課税世帯等に7万円を追加給付
- えちぜんし割(6,000万円)【再掲】
2,000円で500円割引のクーポン発行
- 学校給食(5,340万円)
小学校給食を3か月間無償化
- 水道料金(8,071万円)
水道の基本料金を2か月分支援

<事業者向け>

- 地域公共交通(89万円)
地域鉄道・路線バスの電気料金・燃料費を支援
- 介護施設等(5,421万円)
電気料金その他、食材費を新たに支援
- 保育園等(312万円)
電気料金を支援
- 中小企業(3,390万円)
借入金の利子を支援
- 農業者(64万円)
水利施設の電気料金を支援

1 物価高騰対策

令和5年度に実施した物価高騰対策

<市民向け>

(単位：千円)

補助対象者	種類	支援内容	補助率	6月	9月	12月
住民税非課税世帯等	給付金	【4月】1世帯あたり3万円 【12月】1世帯あたり7万円	市10/10	4月 176,000	—	331,325
低所得子育て世帯等	給付金	【4月】1人あたり5万円	国10/10	4月 72,000	—	—
妊婦・子育て世帯	給付金	妊娠時、出産時に各5万円	国4/6 県1/6 市1/6等	—	30,574	—
小学校・中学校の保護者	給食食材費	【6月】食材費高騰分(通年分) 【12月】小学校給食費(3か月分)	市10/10	51,437	—	53,400
市民・事業者	水道料金	水道料金 (基本料金の2か月分)	市10/10	—	—	80,710
	クーポン	「えちぜんし割」の発行 (2,000円以上で500円割引)	市10/10	—	—	60,000

1 物価高騰対策

令和5年度に実施した物価高騰対策

<事業者向け>

(単位：千円)

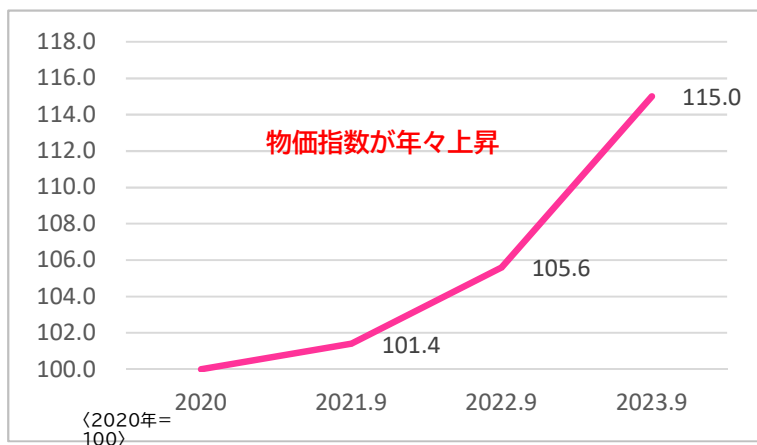
補助対象者	種類	支援内容	補助率	6月	9月	12月
地域鉄道・路線バス	電気料金・軽油	電気料金・燃料価格上昇分	県1/2 沿線1/2	2,897	—	888
介護施設等	電気料金 食材費	入所・通所・訪問の施設区分毎に定員に応じて支援 【6月】電気料金高騰分 【12月】食材費	県1/4 市1/4	33,924	—	54,212
民間保育園等	電気料金・食材費	電気料金：定員に応じて支援 食材費：3歳児以上の園児数に応じて支援	県1/4 市1/4	13,078	—	3,123
農業者	燃料・肥料	燃料・肥料の価格高騰分を県補助に上乗せして支援	1,000円/10a	35,157	—	—
	電気料金	農業水利施設の電気料高騰分を支援	県7/10 市3/10等	625	—	637
中小事業者	省エネ設備	省エネ設備の導入を支援	市1/2	23,001	—	—
	商品開発	コロナ後に向けた商品開発を支援	市2/3	—	21,000	—
	利子補給	県制度融資（コロナ・物価高騰）の利子を支援	市10/10	—	—	33,900

1 物価高騰対策

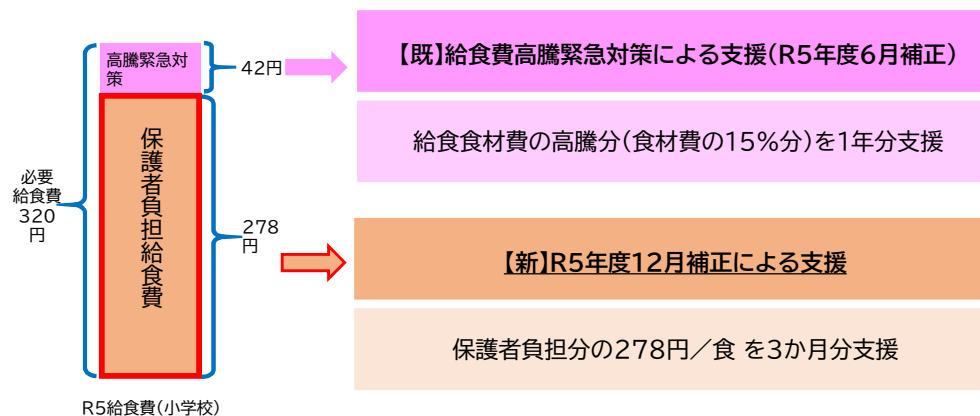
学校給食費物価高騰対策特別支援事業（5,340万円）

小学校給食の期間限定の特別支援を実施

【消費者物価指数推移(食料)】



【給食費を期間限定で支援】



地場産給食
日野川アユ給食



菊御膳
コウノトリ米ごはん給食

【予算額(試算表)】

	小学校
A:児童数(10月1日時点)	3,996人
B:1食当たりの保護者の負担額	278円(必要給食費320円)
C:想定喫食日数(1月~3月)	48日
12月補正額(A×B×C)	53,400千円

1 物価高騰対策

水道料金物価高騰対策特別支援事業（8,071万円）

水道料金(基本料金)の期間限定の特別支援を実施

物価高騰の影響を受けている市民や市内事業者に対する期間限定の支援策として、水道料金のうち基本料金を2か月間無料にします。

【概要】

○対象者 越前市の水道を使用している全ての世帯及び事業者

軽減対象予定件数 約34,000件

○対象期間 令和6年1・2月検針分(令和6年2・3月請求分)

○軽減内容 水道料金のうち基本料金を無料にします。(2ヶ月分)

軽減見込額 85,210千円(税込み)

(例) メーター口径13mm：1,848円→0円

メーター口径20mm：2,904円→0円

○手続き 今回の水道料金の軽減に伴う申請手続きは必要ありません。

○その他 下水道使用料は対象外です。

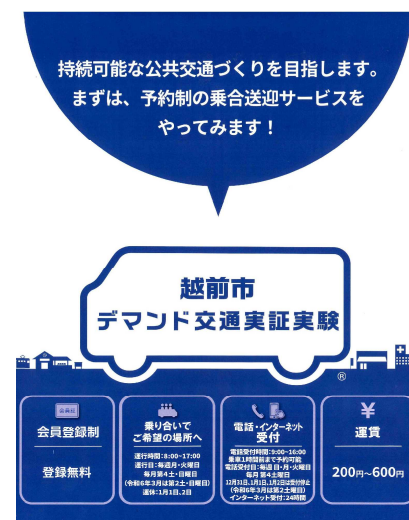
2 安全・安心な市民生活を下支え

地域交通対策事業【デマンド交通実証実験事業】（263万円）

定時定路線の公共交通を見直し、市民の移動手段を充実させるため、デマンド交通の実証実験を継続



(デマンド交通車両に乗車する様子)



(パンフレット)

各種扶助費の増額（4億5,761万7千円）

こども医療費助成事業や障がい福祉サービス事業など必要な経費を増額

2 安全・安心な市民生活を下支え

県営土地改良事業、土地改良補助金事業（252万円）

安定的に農業用水を供給するため、日野川用水土地改良区等が行う八乙女頭首工の土砂撤去工事を支援



(八乙女頭首工)

2 安全・安心な市民生活を下支え

市営林道整備事業（1,650万円）

6、7月の大雨で破損した林道施設の改修を実施



（被災した林道沿いの水路の様子）

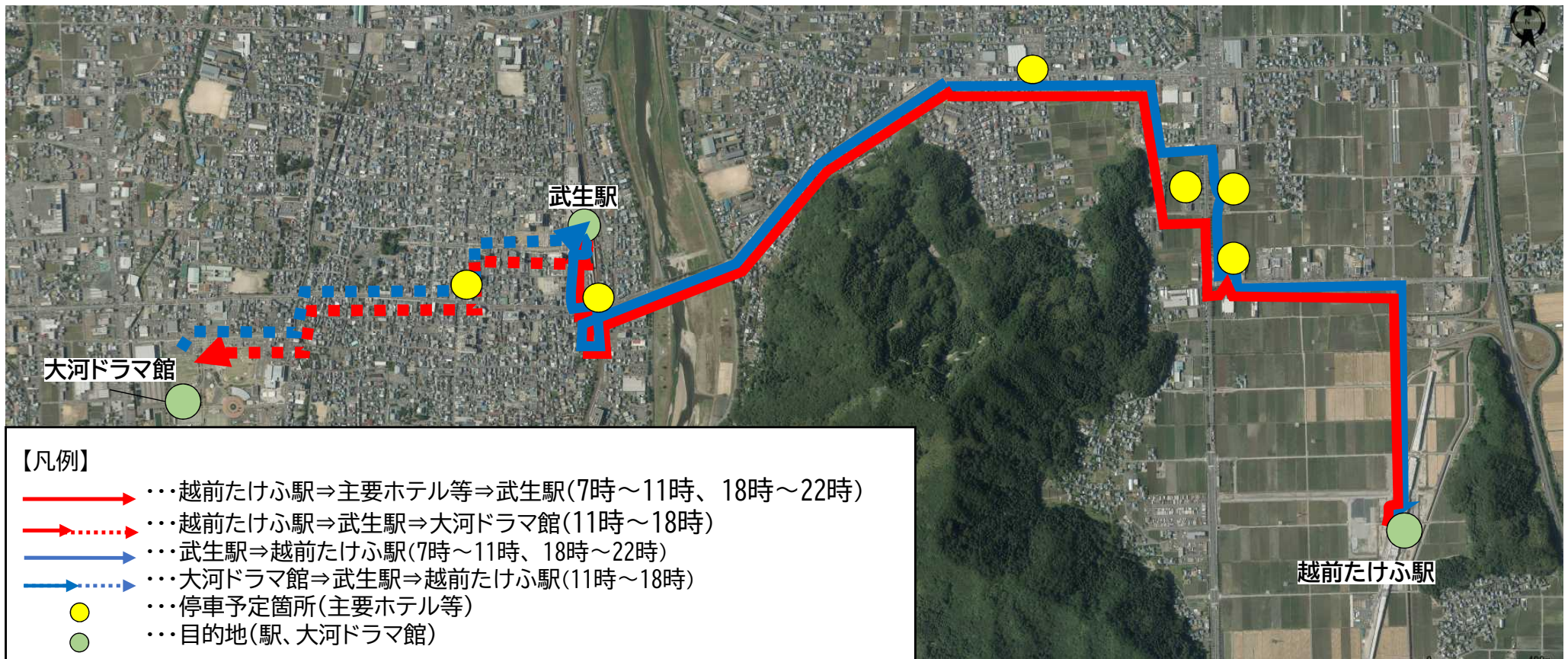


（被災した林道沿いの集水柵の様子）

3 観光地の魅力アップを推進

地域交通対策事業【シャトルバス運行事業】（497万2千円）

市街地への誘客を図るため、越前たけふ駅から街中へシャトルバスを運行



※ 2月23日から3月15日までは、「JR武生駅～大河ドラマ館」間において無料シャトルバスを運行します。

3 観光地の魅力アップを推進

観光推進事業【越前和紙バレー創造事業】（500万円）

越前和紙産地を中心としたエリアの観光ポテンシャルを活かした観光地域の高付加価値化、スケールアップを図る

令和5年度：基本計画策定

令和6～8年度：計画に基づくハード、ソフト事業を実施



（和紙の体験プログラムの様子）



（岡太神社・大瀧神社）

3 観光地の魅力アップを推進

観光推進事業【丹南地域定額タクシー事業】（140万円）

県外からの観光客等の利便性向上を図るため、県、鯖江市、南越前町、越前町と共同で定額タクシーを運行

事業費－負担金 1,400千円（県補助） 支払先：（仮称）丹南広域タクシー協議会

区分	内容
利用者	越前市、鯖江市、南越前町、越前町の住民以外の来訪者
利用時間	8:00～19:00
市内のチケット販売場所	観光・匠の技案内所、越前たけふ観光案内所
利用者の料金	1,000円
運賃の負担	タクシー運賃－1,000円を、県が1/2と着地市町が1/2を負担
乗降スポット	①越前市、鯖江市：市単独タクシー事業の乗降スポット ②南越前町：道の駅南えちぜん山海里、南条駅、今庄駅、今庄の宿かねおり、そまやま、桜橋運動公園等 ③越前町：福井総合植物園プラントピア、西田中バスターミナル、越前陶芸村、劔神社・織田文化歴史館 (※)南越前町の越前海岸の民宿等は、利用料1,000円で定額タクシー事業を実施(県1/2、南越前町1/2負担) (※)越前町の越前海岸の民宿等は、利用料5,000円で定額タクシー事業を実施(県1/2、越前町1/2負担)

3 観光地の魅力アップを推進

いまだて芸術館施設管理事業（1, 120万円）

国際木版画会議の開催に向けて、いまだて芸術館の改修を実施



（自動ドアの改修）



（屋上の防水工事）

4 地域ブランド力の向上

ふるさと納税推進事業（1億円）

魅力的な地域ブランドの返礼品等により好調であったふるさと納税の増収見込に伴い返礼品を増額



（35,000円寄付に対する返礼品）

（110,000円寄付に対する返礼品）



（50,000円寄付に対する返礼品）

4 地域ブランド力の向上

園芸振興対策事業（300万円）

次期作における園芸作物の安定した生産量を確保するための対策を支援

